



ネイチャーセンターだより

2018年7月号

新・いきもの図鑑



アサリ

しゅんくにたいわん
春国岱湾でよく見られる二枚貝のひとつです。内湾の干潟から海水が入る潮下帯ちようかたいに生息しています。大きさは4cm程度、貝の色はそれぞれの環境によって異なります。漁師さんは湾内で干潟かんきように腰を下ろし、干潮の時間帯に、短い柄の「アサリ搔き」を使って、アサリを掘り起こします。海辺を歩いていると、小さな丸い穴が開いたアサリの貝がらがたくさん落ちてています。これはツメタガイという巻貝が、アサリあどを食べるために、からに穴を開けた跡です。

※7/29と8/5に海辺の生きもの観察会を開きます。詳しくは裏面をご覧ください。※採集は禁止です

【参考文献】干潟生物観察図鑑 風呂田利夫ほか（2016）、干潟ベントスフィールド図鑑 鈴木孝男ほか（2014）

7月の見どころ予報

【野鳥】【けもの】

しゅんくにたい
春国岱や自然学習林内では、巣立ちピナがみられます。下旬になると、水辺ではアオサギが時には100羽以上の群で休んでいるのが見られます。春国岱の駐車場周辺ちゆうしやじょうしゆうへんとアカエゾマツコース沿いでは、子ギツネがすくすく成長します。



カレイやゲンゴを食するアオサギ



散策路(木道)の下に巣穴があるキタキツネ



【植物】

セリ科の植物がいたるところで目立ってきます。春国岱では、駐車場やヒバリコースの木道周辺でマルバトウキが、第一砂丘に立つシカ柵さく周辺で（駐車場から約2.5km先）背丈が1mほどのエゾノシシウドが開花します。自然学習林周辺では、もっと背が高いオオハナウドがニヨキニヨキと成長し、ぼんぼりのような白い花が咲きます。

左から
マルバトウキ、エゾノシシウド、オオハナウド
見分けが難しいセリ科の仲間。識別図鑑センターで販売中

見どころMAP

駐車場から約2.5km地点のシカ柵内でハマナスやエゾノシシウドが咲いています

上旬までは、ヒバリやシマセンニュウのさえずりが海岸沿いで聞かれます。



左：ウミミドリ
右：マルバトウキ



花が一番多く見られる季節です。ヒバリコースではマルバトウキ（白）ハマエンドウ（紫）ウミミドリ（ピンク）ハマニガナ（黄）が見られます。（）は花の色

ヒガラやルリビタキなど森林性の鳥が見られます。

エナガなどの巣立ちピナが見られます

- 観察路（ヒバリコース1.2km、約25分）
- 観察路（ハマナスコース1.4km、約30分）
- 観察路（キタキツネコース0.8km、約20分）
- 観察路（アカエゾマツコース0.5km、約15分）

- 観察路（小鳥の小道1.4km、約30分）
- 作業路（春国岱上は車両進入禁止）
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）
- 東梅野鳥観察舎（東梅ハイド）

※蚊やマダニ対策をしてご利用ください（肌を出さない・虫よけスプレーを使う）

トピックス

夏鳥の飛来メモ

2018年に春国岱にやってきた夏鳥たちの観察日（初認日）記録です。
過去4年間の記録と比較して、早い▲・おそい▼・平年並み—と略記しています。

アオバト	6月10日	—	
ツツドリ	5月29日	▼	(4日おそい)
ショウドウツバメ	6月5日	▼	(4日おそい)
マキノセンニュウ	6月10日	—	
シマセンニュウ	6月10日	—	
エゾセンニュウ	6月3日	▲	(5日早い)
コヨシキリ	5月22日	▲	(5日早い)
キビタキ	6月16日	▼	(23日おそい)

6/19 ミヤコドリ確認しました！

春国岱の海岸沿いの先端部に、ミヤコドリが8羽いるのを確認。春国岱では、5月13日以来、約ひと月ぶりの記録となりました。確認したのは朝5:00頃で、満潮に近い時刻でした。(満潮5:40、127cm)春国岱の対岸の走古丹では、5月23日に調査に行った際に3羽を確認しているので、もしかすると繁殖地に行かずに留まっている群が行き来しているのかもしれませんが。



アカエゾマツコースでノゴマが記録されました

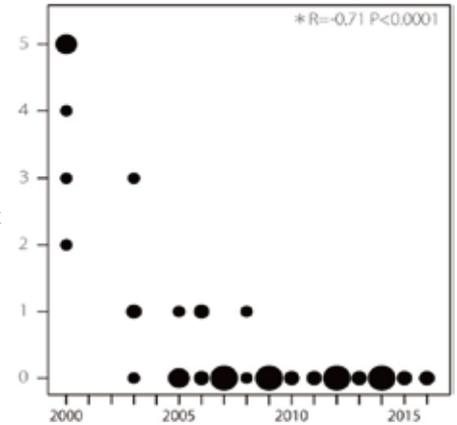
木道の修復工事が完成したのを機に、6月に行った春国岱・アカエゾマツコースの鳥類調査で、ノゴマのさえずりが3回記録されました。

ノゴマは春国岱ではかつて、海岸ぞいの第一砂丘のハマナス群落でよく見られたのですが、第一砂丘で行っている繁殖期の鳥類の個体数を数える調査では2009年以降、記録が途絶えていました。これは、エゾシカの増加によりハマナスが食べられ、ハマナスの背丈が小さくなってきたことと関係すると考えられています（外山雅大さん、山岸洋樹さん、田尻浩伸さん、手嶋洋子元レンジャー、善浪めぐみレンジャーが2017年に日本野鳥の会の野外鳥類学論文集「ストリクス」で発表した論文による）。個体数調査以外での観察記録も、下記のように途絶えがちです。

2012. なし（ネイチャーセンター付近で6月に記録あり）
 2013. なし
 2014. 6-8月に6回
 2015. 6月に1回
 2016. なし
 2017. なし



第一砂丘の鳥類調査で記録されたノゴマの個体数の移り変わり
 （出典：山岸ほか2017. Strix vol.33）



今年はオスのさえずりを記録したのみで、営巢していたかどうかまではわかりませんが、ノゴマの好きな、草地に低木が茂っているような環境が残っていれば、まだ戻ってきてくれる可能性が十分あるということは考えられます。

なお、キタキツネコースの木橋から、再開通したアカエゾマツコースの前半にかけては、センダイハギなどの背丈のある草地になっており、ノビタキ、シマセンニユウ、マキノセンニユウ、オオジュリンといった、かつての第一砂丘のハマナス群落とその回りで見られ、その後減少した鳥類も少数、記録されています。

春国岱クイズ

シマセンニユウは春国岱の海岸の草原に見られる、スズメくらいの大きさの茶色っぽい地味な色の小鳥です。やぶの中にもぐっていてなかなか姿を見せてくれませんが、「テッ、テッチチュイ、ギユルギユルギユル」という、電子音のような音質のさえずりは、特徴があります。

シマセンニユウは英語で Middendorff's Grasshopper Warbler (ミッドンドルフの・バッタのような声の・さえずる鳥) と言います。さて、この「ミッドンドルフ」とは、次のうちどれでしょうか？



- ① 自動車メーカーの名まえ
- ② 探検家の名まえ
- ③ パン屋さんの名まえ

イベント情報！

お問合せ・お申込みはネイチャーセンターへ
お申込み方法は直接・電話・メールでお願いします（連絡先は下記に）
お申込み時は参加者全員のお名前、ご連絡先、小・中・高生は学年をお知らせください

参加お待ちしております
しています



夏休み直前！工作教室！
7月22日（日）
10：00-11：30

おが粉アートや魚箱づくりなどに挑戦！ ※予約不要

ボランティアグループ「スUNK」がていねいに作り方を教えてくれます
持ち物：軍手・金づち 対象／どなたでも（未就学児童は保護者同伴）
参加費：一人200円（保険・資材代）
（主催：春国岱ネイチャーセンターボランティアグループスUNK）

申込要！×切7/26
海辺の生きもの観察会
7月29日（日）
9：30-11：30
※雨天時は室内プログラム

アマモ場の生きものを専門家と観察します！

講師：仲岡雅裕さん（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所）と大学生
対象：小学生～大人、定員20名（先着順）
持ち物：濡れてよいスニーカーまたは長靴（サンダルは不可）、日焼け、虫よけ対策（スプレーなど）、飲み物、タオル、着替え、筆記用具、参加費：100円（保険代）

しめっち子ども交流会

8月5日（日）
パート1.
9：30-10：00 ミュージカル

劇団シンデレラによる特別講演！

夢と希望と冒険と自然との共存をテーマに、大人から子どもまで楽しめるファミリーミュージカルを日本全国で公演している「劇団シンデレラ」が愛知県から春国岱にやってきます。根室の生きものや自然をテーマにしたオリジナルミュージカルです。無料ですので、ぜひ足をお運びください。会場：春国岱ネイチャーセンター2階

パート2. **申込要！×切8/2**
10：00 集合-12：00 終了
海辺の生きもの観察会
※雨天時は室内プログラム

北海道に13ある各ラムサール条約湿地から、子どもが根室に集合！ みんなで根室の生きものを観察しましょう

対象：小学生～大人、定員10名（先着順） 集合：春国岱ネイチャーセンター
持ち物：濡れてよいスニーカーまたは長靴（サンダルは不可）、日焼け、虫よけ対策（スプレーなど）、飲み物、タオル、着替え、筆記用具、参加費：100円（保険代）

フィールドマナーを守って

自然と他の利用者にご配慮ください

1. 観察路から外れないようにしてください
2. 動植物の採取や捕獲はしないでください
3. ゴミはお持ち帰りください
4. 所定の場所以外での喫煙はできません
5. 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
6. キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆休館日：7月4・11・17・18・25日

8月1・8・13・15・22・29日

◆開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

クイズのこたえ 答② アレグザンダー・フォン・ミッドENDORFFは、エストニアで生まれ、ロシアで活動した動物学者・探検家です。1843年～1845年にシベリアからオホーツク海沿岸を探検し、シマセンニュウを発見して、世界に紹介しました。

出典：https://en.wikipedia.org/w/index.php?title=Alexander_von_Middendorff&oldid=787313176



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録